

OSS License Checked! Orchestrating a brighter world **NEC**

オープンソースの「今」を支える
オープンソースカンファレンス 2019 Kyoto

ポツになったOSSライセンスの本

2019年8月2日
NEC OSS推進センター・姉崎卓博

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ類のないインテグレーターとしてリーダーシップを確立し、卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、世界の国々や地域の人々と協業しながら、明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

本のタイトル

『オープンソースソフトウェアを上手に活用する方法』

だけど

副題の方が趣旨にあっている

『OSSライセンスを正しく理解するための本』

目次

第1章 OSSの初歩 13

第2章 OSSライセンスの概要 31

第3章 OSSライセンスにまつわる誤解 58

第4章 OSSを使ったビジネスで気をつけること 80

第5章 トラブル回避のための基本的な施策案 100

第6章 コンサル事例 116

第7章 余談：著作権法とNEC創立の関係 141

150ページほど書き上げたが…

たぶん、読んでくれるのはこの辺の人

出版社のターゲットはこれじゃ商売にならない

当然、こちらの人

→、たぶん、ポツに。

このまま眠らせておくのも、もったいないから

若者にトランスファー兼て

一章ずつ、見直ししながらWebにPDF公開中。

<https://jpn.nec.com/oss/osslic/article.html?l#article08>

『オープンソースソフトウェアを上手に活用する方法～OSSライセンスを正しく理解するための本』

はえがき への補足

本体では明記していないが、私がLinuxに関わるきっかけ

注16) 大塚商会は8月24日から、NECのExpress5800と日本IBMのNetfinityにLinuxを搭載してインターネット・サーバーとして販売している。製品は同社のCTOセンターで組み立てる。富士通ビジネスシステムのLinux関

の、小さな脚注

『第1章 OSSの初歩』は

OSSは、無料ソフトウェアと紹介され、誤った印象で受け取られることが多かった。例えば、「OSSは無料でなければならない」と誤解する人がいた。「OSSライセンスの問題は、企業がOSSを使うからイケナイんだ」と誤解している人もいた。

どれも、根拠のない話である。という話

そんなことばかり言っていると、著作権侵害を犯してしまいますよ

OSSは、無料で自由に使えるソフトウェアですか?

他にも都市伝説が多数

- OSSライセンスは、ソフトウェア・ライセンスの一種
- GPLでソース開示させるEnforcementの議論
- GPLは法的に有効か?の議論
- GPLは契約
- GPLプログラムをリンクするとソース公開
- GPLプログラムから一行でも流用するとソース公開
- GPLもプロセスを分ければソース開示せずに済む
- GPLにより4つの自由が具現化される
- BSDLは変えられるけどGPLは変えられない
- ライセンスをパッケージ単位でサプライチェーン管理

こういう都市伝説を無頓着に開発者に語るのが…

この辺の人

知財部 企業A ●推進者 企業B ●推進者 企業C ●推進者 弁護士

都市伝説を信じる、この辺を対象に、都市伝説を騙れば、部数は出そうだが、道義的にどうか、と思う

→だから、この辺を対象にした内容。数が出そうにないから、本にならない。

という、年寄りのボヤキ

都市伝説を信じるコミュニティに仲間入りしたい、のでなければ

論理的に考えて、正しく理解しましょう。

<https://jpn.nec.com/oss/osslic/article.html?l#article08>

Orchestrating a brighter world

NEC